

IMAGINE  
THE  
FUTURE.

# 附属大塚 学校だより

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

## 「みなさんの声」の取り組みを始めました！

保護者の皆様からの学校評価アンケートを踏まえ、よりよい学校づくり、魅力ある学校づくりを目指して新しい取り組みを始めます。

「みなさんの声」として附属大塚特別支援学校に関わる多くの方の意見やアイデアを広くお聞きし、今後の学校、学部、そして学級の運営にいかしていきます。

本校では、これまで「個別教育計画」に基づいて、お子さん本人、さらには支援者であるご家庭の皆様の「願い」の実現に向けた教育実践を行ってきました。今後は、これまで以上に一人一人の「願い」に耳を傾け、お子さんの育ちについて一緒に考えていきます。

私たち教員一同、「チーム大塚」として魅力ある学校づくりを目指してきます。ご協力よろしくお願いいたします。



校長室脇の掲示版「みなさんの声」

筑波大学附属大塚特別支援学校

## みなさんの声

大塚特別支援学校が全ての人にとって魅力ある学校にするために、みなさんの声を聴かせてください。記入後は玄関の相談ポストにお願いします。

<みなさんから>
記入日： 月 日 ( )

<学校より>

ご記入ありがとうございます。頂いた声を受け止め、世界最高水準の学校の実現に向けて共に歩んで参りたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

- ・誰でも自由にお書きいただけます。  
(幼児児童生徒、保護者、外部の方など)
- ・無記名、記名どちらでもOKです。
- ・よりよい学校にするためのご意見やアイデアをご記入ください。また、よかった取り組みについても大歓迎です。
- ・悩みごとや相談などもOKです。その場合は、個別にお応えします。

- ・学校側がコメントを記入し、ご意見にお答えいたします。「みなさんの声」は、校長脇の掲示版に掲示する予定です。  
(問い合わせ：副校長・主幹教諭)

## 学校参観について

本校では、保護者会の午前中を授業参観日に設定しています。どの学部の授業でもご参観いただけます。また、保護者会以外の参観も可能ですので学部主事・主幹にお声掛けください。

## 本校の「合理的配慮」と「基礎的環境整備」って何？

我が国では、「障害者の権利に関する条約（「障害者権利条約」）」を批准するにあたり、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的として、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（「障害者差別解消法」）」が平成28年4月に施行されました。

ここでは、民間事業者や行政機関等に対して、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。「合理的配慮」とは、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに（意思の表明）、障害の特性やそれぞれの場面・状況に応じて、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者においては、対応に努めること）です。。

教育現場における「合理的配慮」は、日々の教育活動へ主体的に参加できるようにするための個別の配慮と捉えられており、学習上または生活上の様々な困難を支える具体的な支援のことをいいます。

一方で、どのお子様にとってもわかりやすい支援を提供することを「基礎的環境整備」といいます。例えば、先日行われた入学式で使用した「進行スライド」は、本校独自の基礎的環境整備であり、小学部の児童に対し、見通しの持ちにくい式典を最後まで取り組めるよう個別に準備した「進行カード」などは、個人への「合理的配慮」です。

本校では、卒業後の社会参加の場で、個人の権利としてしっかりと「合理的配慮」の提供を伝えられるスキルを身につけて欲しいと願っています。そのためには、幼稚部、小学部段階から、より多くの生活経験を積み重ねるなかで、自ら考えて物や活動を選択する機会や、自らの意思で何かを決定する機会を設けることが大切です。子供達は、自分の言葉で伝えることや、代替手段や補助手段を活用しながら伝える学習を通して「意思の表明」の力を獲得していきます。

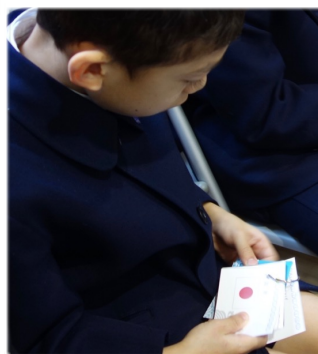
来週からは、家庭訪問や個人面談が始まります。お子様がこれまでに受けてきた配慮やこれから必要と考える配慮について、本人の「願い」を尊重し、みなさんとの合意形成をふまえて個別教育計画に反映させていきます。



幼稚部ではモニターを使ってスライドを映しました。



小学部では、手のひらサイズの進行カードを作りました。



こちらはめくるタイプです。



正面スクリーンに映し出された進行スライド。今の順番がわかります。